

「スーパージュニア選手育成プログラム 2017」トライアル



広島会場



福山会場

10年目の節目となる「スーパージュニア選手育成プログラム」が開催されました。県内の小学5・6年生全員に配布した募集要項により、広島会場に約150名、福山会場に約30名のトライアル参加の応募がありました。残念ながら当日、体調不良等による欠席者はありましたが、5月20日(土)、21日(日)に広島会場、5月27日(土)に福山会場の3日間、未来のアスリートを目指す小学生が元気にチャレンジしました。

次のオリンピック・パラリンピックはいよいよ自国東京での開催ということもあり、スポーツに対する関心が高まる中、参加したジュニア選手、そして見守る保護者たちの目も一段と輝いていたような気がします。

このプログラムは、いろいろなスポーツを体験し、自分にあった競技、自分のやりたい競技を見つけてもらうことが目的の一つです。参加したジュニア選手の中から未来の広島県を代表する国体選手、日本を代表するオリンピック選手が育ってくれることを期待しています。



開会行事では、主催者を代表して公益財団法人広島県体育協会 河野裕二 強化委員長が「皆さんは、今日、挑戦をしに来てくれたのだと思います。挑戦することは素晴らしいことです。目的や目標をもって、何事にも挑戦してください。」とあいさつした。

また、広島県教育委員会スポーツ振興課の小原博文課長から「昨年のリオデジャネイロオリンピックで広島県ゆかりの選手が活躍し広島県が大いに盛り上がりました。皆さんも、このプログラム参加をきっかけに、将来のオリンピック選手という大きな夢を描いてください。」との激励があった。



まず、全員で準備運動を行って体をほぐした後、測定を開始しました。今回の測定は、上体起こし、立ち幅跳び、長座体前屈、40m走、ソフトボール投げ、20mシャトルランの6種目を実施しました。



各測定とも、参加したジュニア選手の皆さんは真剣な表情で望んでいました。ソフトボール投げで体育館の壁に当てる遠投や、100回を超えるシャトルランなどの好記録が出ると、他の参加者や保護者、スタッフから拍手と歓声が上がりました。



上体起こし



立ち幅跳び



長座体前屈



40m走



ソフトボール投げ



20mシャトルラン

今回のトライアルにより、次の体験プログラムに進む5年生25名、6年生25名を選考し、選考結果を参加者全員に通知しました。

体験プログラムは、7月から始まり、計6回のプログラムが実施される予定です。トライアルに合格した50名に加え、昨年度の体験プログラムに参加した5年生(現6年生)で希望されたジュニア選手が参加できます。また、関係競技団体による専門プログラムも実施が予定されています。これは体験プログラムで実施した競技をさらに継続してやりたい場合や体験プログラムに参加することができなかったトライアル参加者も参加できるもので、何回でも、どの競技にも参加できます。

今回は、この専門プログラムを実施する競技団体のうちスピードスケート、テニス、ボート、ウェイトリフティングの担当者によるプレゼンテーションも行われました。プレゼンテーション後には興味を持った参加者が、実際にその道具や機材を手に体験する姿が見られました。皆さん、いろいろなスポーツに挑戦してください。きっと、自分にあったスポーツに出会えると思います。



スピードスケート



テニス



ボート



ウェイトリフティング

最後に、今年もトライアルの測定にご協力をいただいたT&TWAMサポート株式会社のトレーナーの皆様、広島県小学生体育連盟の皆様、補助員としてお手伝いをいただいた広島女学院大学、広島文教女子大学、福山平成大学の学生の皆様に改めて御礼申し上げます。ありがとうございました。

